



2021年12月14日

各 位

会社名 株式会社 鮎子丸
代表者名 代表取締役社長 石田 満
(JASDAQ・コード3075)
問合せ先 取締役管理本部長 仁科 善生
電 話 043-350-1266

2022年5月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年6月29日付にて公表した2022年5月期（2021年5月16日～2022年5月15日）の第2四半期業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また当社は、2021年12月14日開催の取締役会において、2021年6月29日付にて公表した2022年5月期（2021年5月16日～2022年5月15日）の通期業績予想の修正を決議しましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2022年5月期 第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異

(2021年5月16日～2021年11月15日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,708	247	256	163	11円95銭
実績値 (B)	7,860	△101	876	540	39円43銭
増減額 (B-A)	△848	△348	620	376	—
増減率 (%)	△9.7%	—	242.1%	229.9%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年5月期第2四半期)	8,788	356	385	202	14円82銭

2. 差異の生じた理由

当社は、営業地域である1都3県において、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等に基づく営業時間短縮等の協力要請への対応を余儀なくされました。特に対象区域所在店舗での断続的なアルコール提供禁止または提供方法の制限は、直接的なアルコール類の売上を大きく減少させるだけでなく、アルコールを目的とするお客様を含む家族等での来店意欲を低下させ、来店客数の減少要因となりました。この結果、売上高及び営業利益は、当初計画を下回りました。

一方で、経常利益と当期純利益は、受取協力金（新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う各自自治体からの協力金）969百万円を営業外収益として計上したことにより、当初計画を上回りました。

3. 2022年5月期通期業績予想の修正

(2021年5月16日～2022年5月15日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	17,953	548	566	362	26円45銭
今回修正予想 (B)	17,104	199	1,188	739	53円96銭
増減額 (B - A)	△848	△348	622	376	—
増減率 (%)	△4.7%	△63.6%	109.9%	104.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年5月期)	17,794	603	864	378	27円66銭

4. 修正の理由

2022年5月期第3四半期会計期間以降も、新型コロナウイルスの変異株が新たに発生する等、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念もあり、経営環境は依然として厳しい状況が続くことが予想されますが、ワクチン接種の進展を背景に、第2四半期会計期間末にかけて新型コロナウイルス感染者数が急速に減少し、売上が期初の予想水準まで回復してきたことから、第2四半期累計期間の実績に期初の下半期予想を据え置いて修正するものであります。

(注) 業績の詳細につきましては、本日公表の「2022年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」をご参照ください。なお、本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以 上